

子どもの心 親の心

—大人はずるい?—

「あいさつする」「感謝する」「謝る」ことは「ひと」と「ひと」とが関わる時の基本です。これらはすべて当たり前のことなのですが、特に大人が子どもに「謝る」ことができていないと感じる場面に遭遇することがあります。これが親と子、大人と子どもの関係がもつ原因になっていることもあるようです。

間違ったり、失敗したりすることは、誰にでもあることです。大事なのは、間違いや失敗を認め、素直に謝ったり、振り返って正したりすることです。とても『勇氣』と『力』のいることですが、“ひと”と“ひと”との関係の修復や信頼感の育成には欠かせないことです。これは、大人でも子どもでも同じはずです。大人の方がかえってできていないのではないのでしょうか。子どもたちがよく言う「大人はずるい」という言葉には、このような意味が含まれているように思います。

大人が、もう少し自分の振る舞いを意識して生活することで、子どもたちに言葉だけでは伝わらない大人の誠実さを伝えることができます。そうすることで、子どもたちは自分が大切にされていると感じ、ひとを大切にできる人間に育つのではないのでしょうか。



教育相談センター「鶴山塾」
山下87番地 電話 22-2523

学校のこと、友だちのこと、
家族のこと、気軽に相談してください

つやま
新産業
創出機構

産学 民官

Vol.14

ミナミノカオリで、津山サンドプロジェクト立ち上げ

★初めてのパン用津山産小麦
今年初めて収穫された津山産の強力小麦「ミナミノカオリ」。名称は、収穫地域が温暖である「ミナミ」とパンの良い香り「カオリ」から命名されています。生地の伸びやパンの膨らみがよく、製パンに適しています。
現在、市内の製パン業者などに試作をお願いしています。試作を希望する業者には、小麦粉を無料でお分けしますので、お問い合わせください。



★津山サンド（仮称）プロジェクト
機構では「ミナミノカオリ」や「フクホノカ」など津山産小麦100%の生地と地域の特産品を挟む「津山サンドプロジェクト」を立ち上げて、製パン業者や飲食店、サンドを作る事業者が連携

できる体制を作り、津山産小麦を通じて地域を盛り上げていきます。興味や関心のある事業者の皆さんは、お問い合わせください。
★市内の研修生が日本語作文コンクールで優良賞を受賞
つやま新産業創出機構の会員企業、ブランケネーゼ株式会社津山工場の実習生・研修生、宋宜鳳さん（中国出身）が法務省・財団法人国際研修協力機構主催の外国人による日本語作文コンクールで優良賞を受賞しました。宋さんは、同じ会社で研修を受けている張永香さんと王云さんを3姉妹に見立てた「なかよし3姉妹」という題で津山での3年間の生活を綴りました。宋さんたちは会社の協力もあり、日本語を覚えるため、週1回の勉強会に欠かさず参加して一生懸命勉強したそうです。



▲写真中央の三人、左から、宋さん、王さん、張さん

東日本大震災被災地支援のため
期間限定で販売した津山ロール・夏バージョンの売上金の一部を東日本大震災の義援金として寄付しました。
お買い上げ、ありがとうございました。



問い合わせ先 つやま新産業創出機構 24-0740

エコるびー

家電製品選んで省エネ!

地球温暖化の主な原因とされるCO₂（二酸化炭素）を減らしていく取り組みの中には、家庭での電力消費を抑えることが挙げられます。家電製品を買い替えるときに省エネ家電を購入することも取り組みの一つです。

☆省エネ家電は地球と財布に優しい
省エネ家電が生み出す2大効果は、CO₂を削減し地球に優しいことと、光熱費を軽減し家計に優しいことです。

☆省エネ家電買い替えのポイント
家電買い替えの時には省エネラベルを参考にしてください。このラベルは☆の数やマークの色で省エネ性能を一目で見分けることができます。

省エネラベル

何年度のものか? 2009年度版

この商品の省エネ性能は?

省エネ基準達成率 100% 年間の消費電力 450 kWh/年

省エネ基準達成率 100%以上

省エネラベルをキエツクするのじゃ

家電買い替え時には、省エネラベルをキエツクするのじゃ

☆の数で評価

年間の目安電気料金

目標達成製品はグリーンマーク、未達成製品はオレンジマーク

9,900円

問い合わせ先 環境生活課 32-2051



環境奉行「エコるびー」

けんこう広場

子宮頸がんを予防しよう



子宮頸がんとは?
子宮の入り口付近の「子宮頸部」にできるがんです。国内では、1年間に約8,500人の女性が新たに子宮頸がんを診断され、約2,500人が亡くなっています。

発症の原因は?
「ヒトパピローマウイルス（HPV）」というウイルスの感染によるもので、感染経路は主に性交渉です。このウイルスは、女性の8割が一生に一度は感染するという報告があるほど、ありふれたウイルスです。ほとんどの場合は免疫の働きによってウイルスが排除されますが、感染が長引くと、がんを発症することがあります。

予防するために
子宮頸がんは、検診とワクチン接種で予防することができます。初期では症状はほとんどありません。1年に1回は検診を受け、発症する前に発見することが大切です。

《中学1年生から高校2年生相当の女子》
平成23年1月1日から平成24年3月31日まで、中学1年生から高校2年生相当の女子に対して任意予防接種の助成を行っています。詳しくは、
予防ワクチン

《20歳以上の女性》
平成23年4月1日時点で20歳、25歳、30歳、35歳、40歳の女性には、7月、ご自宅にがん検診 定期的な検診 無料クーポン券を郵送しておりますのでご利用ください

問い合わせ先 健康増進課 32-2069